

湘南鎌倉医療大学大学院看護学研究科 学位論文に係る評価基準

【修士論文】

<論文審査基準>

- (1)看護学において学術的に重要な研究課題であるか
- (2)問題意識及び研究の目的・意義は明確であるか
- (3)研究目的に適した研究デザイン・研究方法が用いられているか
- (4)倫理的配慮が十分になされているか
- (5)必要なデータが収集され、適切に分析できているか
- (6)文献検討が十分に行われ、研究結果を適切に考察しているか
- (7)論文の論旨の展開は、一貫して整合性があるか
- (8)発表においては、研究内容を十分に説明できているか
- (9)十分に時間をかけて学位論文を作成し、論文投稿できる内容であるか

<最終試験審査基準>

- (1)博士前期課程のディプロマ・ポリシーを達成しているか
- (2)看護研究者・看護教育者として必要な倫理観と人間性を有しているか
- (3)看護研究者・看護教育者として必要な自己研鑽、リーダーシップをとる態度を有しているか
- (4)看護専門職者として幅広い知識と教養を有しているか

<審査方法>

主査1名及び副査2名の3名で審査する。ただし、審査を申請した学生の主研究指導教員及び副研究指導教員を主査に指名することはできないものとする。なお、他の大学院等の教員を当該分野の専門研究者として副査に加えることができるものとする。

【博士論文】

<論文審査基準>

- (1)看護学において学術的に重要な研究課題であり、当該専門分野への貢献度があるか
- (2)明確な問題意識の基に文献検討が十分に行われ、研究の目的・意義は明確であるか
- (3)研究目的に適した研究デザイン・研究方法が用いられ、精緻に記述されているか
- (4)新規性・独創性・発展性のある研究であるか
- (5)研究のすべての段階において、倫理的配慮が十分になされているか
- (6)必要なデータが適切な方法で十分に収集され、適切に示されているか
- (7)研究目的に合致した信頼性・妥当性のある分析ができているか
- (8)幅広い観点からの文献を用いて、適切で十分な考察がなされているか
- (9)論文の論旨の展開は、一貫して整合性があり、かつ明解であるか
- (10)発表においては研究内容を十分に説明できているか
- (11)自ら十分に時間をかけて学位論文を作成し、国内外の学術誌に掲載可能な内容であるか

<最終試験審査基準>

- (1)博士後期課程のディプロマ・ポリシーを達成しているか
- (2)自らの研究課題について、研究者としての識見と自立して継続する見通しを有しているか
- (3)看護学教育の在り方や展望について、学修を踏まえた見解を有しているか
- (4)社会における健康課題について、先見性と変革への意欲を有しているか
- (5)看護学研究者、看護学研究者のリーダーとして、専門分野を牽引するための専門的かつ幅広い知識、教養、判断力、人間性を有しているか

<審査方法>

主査 1 名、副査 1 名、これに国内の他の大学院研究科・研究所等から申請された専門領域の教員 1 名を副査に加えた 3 名で審査する。ただし、審査を申請した学生の主研究指導教員及び副研究指導教員を主査に指名することはできないものとする。